

一般飲食店における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	18～ 19	当店ホールにて、ボックスのソファに子供用の椅子を設置しようとした際、濡れた床面で足を滑らせ、その反動で右ひざを捻ってしまい負傷した。	21	30 ～ 49
1	14～ 15	厨房内の食器洗い場において、汚れた食器の返却台（高さ98cm）に食器が入ったプラスチック製ケース（40×50×18cm）があった。そのケースを両手で持ち足元に置こうとしたとき、ケースが重く腰に痛みが生じ、その後も痛みが治まらなかった。	56	30 ～ 49
1	9～ 10	店舗厨房内のウォークイン冷蔵庫にてオープン作業の為、タレ缶を移動させようと持ち上げたところ、膝を伸ばしたままの無理な体勢で持ち上げた為に、ぎっくり腰になってしまった。	46	—
1	22～ 23	営業終了後の後片付け時に、店舗裏口の外倉庫内の暗くて、段差が有り足元の悪いスペースで、500mlのビール中びんケース約20kgを運び出そうとして、ビールケースを持ち上げた瞬間に腰を捻り、腰に激しい痛みを感じてそのまま動けなくなった。	48	—
1	23～ 24	店内にて営業終了時の業務中、レジの最終確認をする為にカウンターに行く際、ホールの床につまずき左足首を捻った。	22	—
1	20～ 21	調理場において、生ビール樽を変える時、狭い場所の為、手を挟む恐れがあった為、右手のみで置いた時、バランスを崩し、ひねってしまった。	45	—
1	21～ 22	交代制勤務、遅番にて勤務中、閉店間近になり、そば、うどんをゆがく六釜を両手で持ち上げ、中の湯を流す為に釜を持ちあげた瞬間、左脇腹に激痛がはした。	59	—

1	10~ 11	ゴミ置場入口にゴミが入ったゴミ箱が2つあり、邪魔になるため動かそうと思って抱えた時、腰に痛みが生じた。	57	50 ~ 99
2	21~22	店の玄関口で店先の看板の位置を直している時、約2.5cmの段差上段に左足小指側だけ乗せてしまい、体重を左足小指一点にかけてしまった結果、骨折した。	59	—
2	16~17	店内キッチン洗い場にて、鉄板を片手で急いで棚に片付けようとしたところバランスを崩し左手首を捻り痛めた。大丈夫だと思い様子を見たが痛みがあり後日受診した。左手首の三角線維軟骨複合体損傷と診断された。	24	—
2	14~15	ウォークイン冷蔵庫から牛肉8kg入りのダンボールをリーチイン冷蔵庫に運び、膝を曲げて屈みリーチイン冷蔵庫内下段に牛肉ダンボールを入れる作業中、膝を曲げた際に左膝に激痛が走る。	46	—
3	10~11	移動販売車のキッチンにてそばつゆを作るため、高さ120cmの鍋に水を入れるため、飲料水用ポリタンク20ℓを持ち上げ注ごうとしたとき、腰に痛みを感じヘルニアになった。	46	1~ 9
3	10~11	移動販売車の狭いキッチンにてそばつゆを作るため、高さ120cmの鍋に水を入れるため、飲料水用ポリタンク20ℓを持ち上げ注ごうとしたときに発生した。そばうどんなどの販売をキッチンカーにて営業し、スペースが限られている上に水を自宅から60ℓ~80ℓ毎日運ぶことや、全ての作業環境が被災者に高さの面で負担になっていた。	46	1~ 9
3	13~14	職場の調理室で食材を取ろうと冷蔵庫の取手に手を掛けた際、冷蔵庫の取っ手がすべりやすい状態だったため、手首まですべり込んでしまい、手首をひねった。	37	30 ~ 49
3	10~11	温冷蔵庫前でつゆの入った20Lの寸胴（8分目までつゆが入っている）を持ち上げる際に、通常とは異なる置き方をしたため、ぎっくり腰を負った。	49	30 ~ 49
3	22~23	調理場で油缶（1斗缶）を2個、両手で運んでいた時、ギックリ腰になり動けず、救急搬送された。	28	10 ~

				29
3	4~5	バックにて、飯アップのため釜を持ち上げ移動しようとした際に、バランスを崩して腰を捻り、ギクッと痛みを感じたが勤務を続けた。帰宅し就寝後、腰部と右足に痛みと痺れを感じ、激痛で歩行困難になった。	43	10 ~ 29
3	13~14	店舗内で接客を行っていた際、40cm程度の高さの座敷から下りるとき、床に足を着くつもりがスリッパを踏んでしまい、足の指が変な方向に曲がり骨折した。	56	1~ 9
4	13~ 14	営業中、お客様のテーブルに料理を提供していたところ、通路とテーブル付近に段差があり、その段差で足を踏み外して、左足首を強く捻ってしまい、甲が腫れ上がった。	23	30 ~ 49
4	17~ 18	勤務先のアイスクリーム店にて、アイスクリーム（5kg~10kg程度）をショーケースに補充するためバックヤードより運搬している際に負傷した。アイスクリーム補充作業は、ショーケースのアイスクリームが少なくなる度に行うもので、被災労働者のみが行うものではない。	33	10 ~ 29
4	18~ 19	ハンバーグ補充のため、ハンバーグ21個入りのホテルパン（縦53cm横32cm深さ10cm重さ約5kg）を解凍庫より移動させたあと、グリル前ドロアーに入れる際に左手親指部分に力がかかりバキと音がし、痛みが発生し、持つ掴む等の動作ができなくなった。	51	10 ~ 29
4	12~ 13	店内キッチン洗い場にて、寿司皿約20枚を持って深いシンクに置こうと前かがみの姿勢になったところ、腰部・右足に痛みがはしり、椎間板ヘルニアを負った。	23	30 ~ 49
4	21~ 22	店内でアイスクリームをスクープし（ディッシャーでアイスを丸くすくいコーンに乗せて提供する）、手首が腱鞘炎になった。当日は催しがあり、通常1時間に10回程度のところ、お客様が10倍以上来店し長蛇の列だった為、休む暇なく5時間（1時間当たり50回位）スクープをし続けたのが原因と思われる。	20	1~ 9
4	11~ 12	厨房内で、足を滑らせ転倒しそうになったが転倒しないように手を床につかないでこらえたところ、右ヒザに体重がかかった。	31	1~ 9
	11~	施設内通路において配膳車での昼食配膳業務中、ルート途中のスロープ上通路の終		50

5	12	点地点で配膳車を一時停止し、その後左へ方向転換した時に左足へ力がかかってしまい痛めた。	65	～
5	14～ 15	就業中、食器を殺菌庫にしまう際、一番下の段に座り立ち上がった直後に動けなくなり、激痛が生じた。（過去に負傷した箇所が悪化）なお、食器の重量は10kgであった。	47	10 ～ 29
5	16～ 17	店内入口自動ドア付近にて窓拭き作業中に誤って足を滑らせてしまい左足を捻ってしまった。	36	30 ～ 49
5	16～ 17	店内キッチンにて、一斗缶に入った廃油を移動しようと前かがみになった際、膝を曲げずに持った為、負荷がかかり腰椎を捻挫した。	46	30 ～ 49
5	21～ 22	ラーメン店の営業中に酔った客が代金の支払いをせずに帰ろうとしたため、追いかけて逃げないように客のベルトを掴み、店まで戻ったが客が暴れたため、警察官が現場に到着するまで必死でベルトを掴んでいる状態が暫く続き、警察官の到着後にベルトを放した10分後頃から肩に激痛を感じ、手を上げることができない状態になった。	50	10 ～ 29
5	2～3	キッチンのフライヤーの油を下から抜いて一斗缶に入れ、フライヤーの掃除をした後、抜いた油をフライヤーに戻すため一斗缶を持ち上げた際に背中を痛めた。その後も勤務を続けたが痛みが引かず、肉離れと診断された。	64	10 ～ 29
6	8～9	店舗にて、洗米してある米（4kg）を冷蔵庫から出そうと持ち上げた時に腰に痛みがあり、違和感を感じた。人が少ないため夕方まで勤務し、足の痺れが酷いため退社した。	30	10 ～ 29
6	17～ 18	店舗バックヤードにて、誤って床で滑ってしまい、左足首の靭帯を損傷した。	20	100 ～ 299
6	1～2	配送の荷物を持ってオリコンを押している時に、荷物が重かったため力を入れたところ足を捻った。	54	1～ 9

6	12~ 13	揚げ物油を処分する作業中に油を持ち上げた時、腰に痛みが出た。	42	—
6	16~ 17	キッチンの洗い場前にて、作業のため移動をしていた際に、床にある排水のための溝の蓋がずれてしまい、溝に左足首から下の部分がはまり、左足首を捻って捻挫をした。	48	10 ~ 29
7	14~15	調理場にてご飯の釜を運ぶ時、段差がある所で足をおろした時に、膝にギクッと痛みが走る。3升分の大きな釜なので、かなりの重さがあるために、力がかかったようである。	66	1~ 9
7	18~19	通常の就業場所の冷蔵室にて、スープの入った寸胴鍋（重さ20~30kg）を移動させようと二人で持ち上げたところ、被災労働者の腰から背中にかけて激痛が走り、その場で崩れるように倒れてしまった。	38	10 ~ 29
7	20~21	清掃センター内で、荷おろし作業の際、中を確認したところ、まだ荷があったため、取ろうとしたところ、運転手が気付かず、テールゲートをおろしてしまい、挟まれ負傷した。	20	30 ~ 49
7	9~10	厨房内にて仕込み作業中、足元にある排水溝の蓋に右足を乗せた際に、蓋がずれていたため、足を取られてバランスを崩し、左足で踏ん張った際に、左足膝軟骨をいため内出血した。	46	10 ~ 29
7	9~10	当社の契約先である企業の社員食堂施設において、納品された食材を運ぼうとして持ち上げた際に腰に負荷が掛かり痛めてしまった。	67	50 ~ 99
7	19~20	キッチン3レーン近くの皿ケース置き場において、皿の入った箱を運ぶ作業をしていた。箱を持ち上げる時に、腰に激痛が走り負傷したもの。	46	10 ~ 29
7	19~20	レストランと店舗内サービスステーションにて、忙しく小走りで動きまわっていたが、クルーとぶつかりそうになり、立ち止まった際左足に力が入らなくなり、倒れる。起き上がろうとしたが痛みが走り、左足の甲が腫れていた。※業務に起因しているかは不明。	43	30 ~ 49

7	17~18	ホールにて接客作業中、お客様の足を避けようとした際、足を強くくじいた。ねんざと判断していたが、痛みと腫れが続いた。	16	30 ~ 49
7	17~18	駐車場にて店舗ツール掲出作業中、のぼりを設置するコンクリートポールスタンド（サイズH420×W250×D250mm）重量30kgを移動中に腰を痛めた。	32	10 ~ 29
7	10~ 11	厨房から空のビールサーバーの樽を3個（5kg×3個）両手で持ち、外に運び出す作業中に、腰部を捻り負傷した。その後も業務を続けていたが、麺つゆ（商品）の容器（10kg）を移動するため持ち上げる作業の際に痛みが強くなった。	42	30 ~ 49
7	14~ 15	業務内容の洗い物、配膳等により、左手親指の関節の炎症と弾発指を発症した。飲食店で働くのが初めてであり、2年程して両手の平に痛みが出はじめ、左手親指の関節が腫れて触れられない程の痛みがあり、病院で弾発指と診断されたものである。仕事以外では手を必要以上に使う事がなく、迅速に大量の洗い物を洗い、また、重い配膳の為と考えられる。	50	1~ 9
7	16~ 17	ケータリングの仕事を終え、トラックが停めてあった近くの駐車場に向かう際、駐車場の車輪止めに左足を強くぶつけてしまい、咄嗟に転ばないようにするため足を捻ってしまった。その直後より、足を地面につくことができない程の激痛と腫れが生じた。	57	10 ~ 29
7	11~ 12	店舗バックドアの入り口で、休憩から戻ったとき、バックドアに付いているスロープで、入り口にいる人をよけたときに、スロープを踏み外して足を捻り、左第五中足骨を受傷した。	55	30 ~ 49
7	4~5	店舗にて、床モップ掛け、客席清掃、20kg程度の食材配送時の運搬、格納等、腰に負荷がかかる作業に従事していた。翌日の起床時、腰の痛みで起き上がることができなくなった。	43	1~ 9
7	10~ 11	店舗内備品庫にて、重さ17kgの米の納品をしていたときに、狭い空間内での作業であったため、無理な体勢で米を抱えたことにより、左肩を負傷した。	41	30 ~ 49

7	20～ 21	店内において、皿を両手に持ち移動していた際、ホールと厨房の間にある段差（2～3cm）を下りるとき、誤って足を捻り、左足甲を負傷した。	18	10 ～ 29
9	11～ 12	キッチンに日々納品された食材を運び、冷蔵庫や冷凍庫に入れる作業を繰り返していたところ、疲労が蓄積し、右肩に痛みを感じるようになったが我慢して働き続けたところ、痛みが激しくなり、診察を受け、腱板断裂と判明した。	53	300 ～ 499
9	1～2	店舗の寸胴交換時に、ガラをゴミ箱に捨てる際に腰を痛めた。持病でヘルニアを持っており、業務の際に、又、発症した。	36	10 ～ 29
9	15～ 16	勤務終了後に着替えるため2階休憩室に上がるため階段を上った際、階段に荷物があり、それを避けるために足を大きく上げたが足を滑らせ、左足を強くひねった。	70	10 ～ 29
9	10～ 11	就業中、厨房内で食器保管庫からデシャップ台へお盆を運ぼうと持ち上げた時に、腰を痛めた。（重さ約10kg）	51	1～ 9
9	17～ 18	店内フロアにて、トイレ衛生チェックをした後、サービスエリアとフロアの間にある階段で誤って足を踏みはずし、左足首を捻挫した。	36	30 ～ 49
9	12～ 13	ホール内にて、パントリーに向かう時、早歩きをしていたところ、歩行中にバランスを崩して、左足首を捻ったものである。	36	10 ～ 29
9	11～ 12	厨房内の自動洗浄機近くで、調理器具が落下したため、斜め体勢で拾ったときに腰をひねった。	36	1～ 9
9	10～ 11	店舗内厨房において仕込み作業を行う為、配送されてきた氷入り魚の入った入荷箱（重量7～8キロ）を持ち上げた際、腰に激痛がはしり床に倒れ、そのまま起き上がれない状態となった、後日、急性腰痛症（ぎっくり腰）と診断された。	47	10 ～ 29
9	12～ 13	厨房ホールで食器カゴ（10kg～15kg）をワゴンに移す時に、腰をひねった。	62	10 ～

				29
9	9~ 10	店内フロアにて、ドリンクバーの組み立て作業中、取り付けの際に拇指に力を入れたところ、痛み・腫れが出た。右手拇指の脱臼と診断された。	45	30 ~ 49
9	18~ 19	店内ホールにおいて、ビール樽（20?）を持ち上げて一歩ふみ出した瞬間に、腰に激しい痛みが走った。	52	1~ 9
9	17~ 18	冷蔵庫のパッキン清掃時、力を入れすぎたため右手親指を捻挫した。	59	10 ~ 29
10	19~ 20	出勤時、店舗の駐車場にて自転車から降りた際、路面の窪みに足をとられ、バランスを崩し右足を痛めた。大丈夫と思い様子をみたが、腫れ痛みがあり受診。右足首骨折と診断を受けた。	54	30 ~ 49
10	11~ 12	ユニット冷蔵庫内で食材を片付けている時に、マグナムワイン6本の入った番重（9キロ）を前かがみになって持ち上げたら、腰に激痛が走った。痛みがひどく歩けなかったため、作業を中止し早退した。重い番重は無理に持ち上げずに、ずらしたり、内容物をバラして片付けるように指示していく。	36	10 ~ 29
10	20~ 21	食器をおぼんにのせて下げていた時、ホールから厨房へ入る所で、食器を落としそうになり、バランスを崩して足首を捻ってしまった。	30	30 ~ 49
11	16~ 17	店舗内で冷茶製造するために製氷機から氷をピッチャーに入れた時、氷を床面に落としてしまった、床面に落ちた氷を踏み足を痛めてしまった。	48	10 ~ 29
11	19~ 20	店内厨房で、8クッカーフィルタータンクセッティング時、床に置いたタンク（約10kg~15kg）を少し持ち上げてレールにはめ込む作業中に、腰に痛みが発生し受傷した。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、自分で手当てをしていたが、良くならなかった為、後日病院へ行った。	22	10 ~ 29
	9~	店舗厨房内の食材製造する大鍋の前に置いていたうどん出汁18?が入った寸胴（寸		10

11	10	胴2.7kg＝総重量20.7kg程度)を持ち上げ3m離れた冷蔵庫に収納するために運ぼうとした。7歩歩いた時、腰からバキッと音がして動けなくなった。	53	～ 29
11	14～ 15	店舗にて、ランチ後の片付けをしている際、急いでいたため、普段より多くの焼酎が入ったケース（6本入り）を棚に上げようとしたところ、腰を痛めた。単なる腰痛だと思い、しばらく療養していたが、治まらないため、病院で診察を受けたところ、圧迫骨折と診断された。	64	50 ～ 99
11	13～ 14	食器等の下げ物を持って洗い場へ持って行く途中に、段差に躓きスチール製のラックに手をつき、ラックの角で指先を切る。	29	50 ～ 99
12	13～14	レストラン店舗内、フロアにてバッシングをしていた際、ビールグラスを落とした為、咄嗟に拾おうと手を伸ばした際、体勢を崩して足を捻ってしまい、左足の小指の側面を骨折した。	51	30 ～ 49
12	13～14	店内調理場で調理中、オーダーが入ったためチキンカツをナイフで切ろうとしたところ、カツを押さえていた左手人差し指を誤って切ってしまった。勢い良く切ってしまったため出血が止まらず、救護室で応急処置をしてもらった後に病院を受診した。	33	10 ～ 29
12	13～14	焼肉店で肉の切断作業や食器類の洗浄作業で右手を酷使し、小指以外の4本の指に痺れを感じるようになった。	58	10 ～ 29
12	15～16	店舗内にて重量約20kgの仕入れ肉が入った段ボールを持ち上げようとしたところ、腰に激痛が走って動けなくなり、緊急搬送されそのまま入院となった。年末ゆえ、通常よりも重量があったことが原因と思われる。	36	1～ 9
12	22～23	事業所内にて、ジュースのケース（50cm×50cm×50cm、重さ10kg位）を移動させようとしたとき、体のバランスを崩して踏ん張った際に、左膝を捻って負傷した。	60	30 ～ 49
12	13～14	厨房内にて、酢飯を入れた箱を移動させた際、腰に激痛がはしった。	50	30 ～

				49
12	17~18	店舗厨房内において、ラーメンスープのストックを作る作業で、スープを濾す際、右手で24cmの雪平鍋いっぱいにもスープをすくって濾していた。ストックするスープの作業なので、この作業が連続で何回も繰り返されたため、徐々にすくうスープが重く感じられ始め、右手首に痛みを感じながらも我慢して作業を続けていた。結局、スープをすくうことができなくなり、500?のペットボトルの飲み物を持つこともできないほどの痛みが右手首に生じた。	22	10 ~ 29
12	13~14	厨房でキッチン台から鍋を下に降ろす際に、腰がカクツとなり動けなくなった。	48	10 ~ 29
12	13~14	製麺室で10kg程の麺を持ち上げたとき、右上腕に痛みを感じた。	52	10 ~ 29
12	10~11	調理場への搬入口から、年末年始用の食材である玉ねぎ10kg箱を、6~8箱ずつ台車にて運び入れる作業をしているとき、搬入口の段差（4cm）に台車が引っ掛かってしまい、前のめりになるような（台車にグッと寄る）姿勢となり、腰を痛めた。更に、無理矢理に一人で押して中に入ろうと力を入れてしまい、引っ掛かったとき、感じていた腰の痛みが強くなった。	56	10 ~ 29
12	22~23	店内キッチンの洗浄機付近にて、皿を洗って運ぶときに足を滑らせてしまい、皿を落とさないようにするため体を捻り体勢を保った際、腰椎と両膝を負傷した。	46	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html